

《別紙》

1. 開催年月日 令和2年7月

2. 開催場所 なし

3. 委員出席

委員総数 6名

レポート提出委員数 5名

レポート出席委員名

下川 隆 委員長

山本恒安 委員

小松真弓 委員

伊藤理香 委員

賀陽智之 委員

レポート未提出委員名

鈴木 悟 委員

回答放送事業者側回答者

飯島千ひろ（制作室室長・ディレクター）

4. 議 題

「Art Radio～西東京市文化芸術振興会より～」毎週土曜日 10時30分～11時 放送

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音したCDを聴いていただき書面にて提出。

## 6. 審議内容

(下川委員長) 幼少の頃からラジオ好き、音楽好きで無線にも興味があり、根っからの技術、メカ好きと言う事で田無タワーの技術部門やFM西東京の社長は天職だと思った。また、無線も得意分野でFM放送局の代表に相応しいと、再確認する事が出来た。4月に開設された田無駅構内のサテライトスタジオ、コロナ禍だが頑張っていて欲しい。これからも、アート RADIO 地域で文化、芸術、経済等々に貢献されている方々を多数紹介して行って欲しい。

(山本) 長谷さん/西田さん/鈴木社長の声は、はっきりしていてよく聞こえた。外の音は、気にならない。西東京市の文化芸術に、どのような方がいるのか紹介してもらおうと、リスナーの興味がわく気がする。途中後半、誰がゲストなのかわかり辛くなった。まだ、文化活動をサポートする文化が根付いてないという事だが、サッカーのサポーターのようにまた企業のCSRのように、サポートする雰囲気はできてきているので、コツコツと続けてほしいし、日常生活に溶け込んでくれればいいと思う。

(賀陽) 鈴木社長のラジオ愛がひしひしと伝わってきた。3人の会話のリズムが滑らかですごく聞きやすかった。喋っているときの、バックの音楽の大きさが丁度良く思う。

後半のFM西東京の新しい取り組み、の説明が分かりやすかった。マチテナの魅力が伝わった。

(伊藤) 西田さんとのお話が盛り上がってしまったところでの進行役の長谷さんの安定の仕切りもあり、【まちテナ西東京】への意気込みなども興味深く聞いた。窓が開いての放送だったようだが、雑音なども気にならず、言葉遣いも問題は感じなかった。コロナ禍で芸術に親しむことから遠ざかっているが、美術館に行ったり、コンサートに行ったりすることが普通に出来る日々の有難さが身に染みた。これからは、今までとは少し違う様式で芸術に親しんでいかなくてはいけないのかもしれないが、新しい楽しみ方を西東京でご活躍されている芸術家の方々と作っていったらいいなと感じられる番組だった。

(小松) 鈴木社長の子どもの時代からの「ラジオ大好き！！感」が声に乗っていた。

人は好きなことを話すとき、声のトーンも上がるし、聞いている側にも「好きなのだな」という楽しい気持ちが伝わって来るものだなと、改めて思った。地域で名の知れた人の子どもの時代の話や、現在の仕事、これからなど、普段知ることができない一面を知ることができる番組の企画はとてもコミュニティ FM 放送局として大切な視点だと思う。冒頭に COVID-19 の影響でスタジオの窓を開けて換気をしているなど、放送局側の対策を取っています。という安心感をリスナーに伝えていることは、今の社会状況だと必要だと思った。

(下川委員長) パーソナリティーの話、企画、構成、交通情報、特殊詐欺の防止の呼び掛け等々、しっかりしている番組の印象。ゲストコーナーは、色々な情報満載で大変興味深く聴けたが、後半盛り上がり過ぎて同時に喋りや笑い声が重なり、聴きづらい箇所があった。西東京市出身の活躍している選手をよく探してきたなと思った。これからも応援していければと思う。

(飯島制作室室長)

今回審議頂いた番組「Art Radio」は西東京市文化芸術振興会が会に関わる方々をお招きしてお話を伺う番組。エフエム西東京は振興会のメンバーであり、そのエフエム西東京がこの4月から田無駅で駅前情報発信拠点「まちテナ西東京」をスタートさせたことを受け、その紹介ということで、弊社社長鈴木の出演となった。普段あまり多くを語らない鈴木だが、その人柄をはじめ、新規事業の紹介が番組を通じて行うことが出来たのはとても有意義だったと思う。

以下、ご質問頂いたことについてご返答いたします。

・夜中の仕事で、電波を止めないと出来ない仕事とは何か？

→ 警察消防関係。公共無線の取り扱いをするため。

・無線がラジオとコラボできる可能性については？

→ 2年前の防災訓練のように防災が絡むような連携が可能と推測される。

・まちテナ西東京を立ち上げた時の苦労話は？

→ プロポーザルの結果が11月。そこから受託で工事がスタートだったので4月オープンに間に合わせるのがとてもタイトであった。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

自社放送 事務所への備え置き 自社HPへの掲載

9. その他の参考事項

なし